

## 令和5年度 事業計画（令和5年3月9日現在の計画）

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で観光業界を取り巻く産業が危機的状況にあり、感染症の国内のみでなく世界的蔓延によって、壊滅的状況に陥っています。発生から3年を経過する中で感染拡大の勢いは止まらず指宿市や鹿児島県をはじめ全国的に過去最大の感染者数を記録し市内の観光関連業者は、長期に渡り甚大な経済的打撃を受け、厳しい経営状況が続いています。併せて長引く原油高や円安、原材料費の高騰は経営に多大な影響を与えており経営の悪化に拍車をかけています。

このことを踏まえ当協会も「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援策の実施要望」を市に提出し支援を得てきたところであります。

このような状況下でありましたが様々なイベントが中止となる中で「いぶすきフラフェスティバル」や第40回記念の「いぶすき菜の花マラソン大会」の開催を行いました。また、「いぶすき菜の花マーチ」もコロナ禍における新たな取り組みも検討し実施するなど動き出してきたところであります。

新型コロナウイルスの収束が見通せない中、観光に対する旅のスタイルも変容し、マイクロツーリズムやワーケーション等コロナ禍で変化してきていますが、国においてはコロナ感染レベルの位置付けも引き下げるなど経済動向も変わりつつあります。

事業推進に当たっては、社会経済情勢の変化や国及び県・市の観光関連施策などにも対応しながら、取組の重点化、効率化を図りつつ、機動的な執行に努め、事態収束の際には迅速かつ強力に観光需要の喚起に取り組んでまいります。

以上のような状況において、令和5年度は以下の事業を中心に観光需要対策を図りながら、市・関係団体と連携し各事業を進めてまいりたいと考えております。

### I 【公益目的事業会計】

#### 1 観光客の誘致促進事業

##### （1）【観光情報誌等作成事業】

昨年度の引き続き観光客や滞在客に対する観光の道しるべとして観光情報誌及び観光マップを発刊し、問い合わせ等のあった観光客への送付や観光案内所での配布にを行い、指宿市の観光情報発信を行う。

また、世界情勢等を踏まえて、ホームページでの観光情報・指宿の魅力を国内外に発信して行く。同時にSNS等の活用も含めてリアル（旬）な情報発信に努め、国内外の観光客誘致促進を図っていく。

##### （2）【指宿観光宣伝誘致促進（国内）】

アフターコロナを見据えた観光誘致活動は、国内の観光地の地域間競争が予測されることから観光誘致促進事業が急務であります。本市へ引き込むため観光地の詳細な情報発信のパンフレット作りやSNS等を使ったPRをしてまいります。現在の観光不況の状況下のなかにあつては、これまで同様な企画とは違った、創意工夫を凝らした内容を計画し、教育旅行の受け入れ体制の強化やス

スポーツコミッションと連携するなど、早い段階で市担当者と、手法・手段のための協議をおこないたいと思います。

延期となっていた燃ゆる感動かごしま国体、かごしま大会への誘客に取り組みます。

### **（３）【エージェントとの連携による長期滞在型ツアーの推進】**

エージェントと連携した避寒ツアー企画として「あったか鹿児島・指宿温泉」長期滞在の旅を実施し非常に高い評価を得ましたので今年度も造成していただくようエージェントに働き掛けていきたいと思います。併せて、コロナ感染対策を行い安全安心な観光地や景観を活かしたワーケーションを活用した観光の推進、マイクロツーリズムの提案を進めてまいります。

## **２ 受入態勢の整備**

### **（１）【広域観光の連携】**

九州知事会が推進しているサイクルツーリズムは県内の観光地を巡るコース設定が行われSDGsを取り入れた新たな観光戦略となってきたことから本市の観光地との連携を図ってまいります。特に長崎鼻、池田湖、開聞岳は重要な観光素材で、昨年完成した池田湖PAXも魅力ある資源として生まれ変わりアクティブティに飛んだ観光地の情報発信を行ってまいります。南薩をはじめ、佐多岬も整備され南大隅との広域関係を一層深める必要があります。

また、山川・根占フェリーは薩摩と大隅の掛け橋として観光客の足となり、相互交流が期待されており、一層の連携を図ってまいります。さらには、種子島・屋久島への着地型観光の拠点づくりと積極的な観光受入の体制強化を図ってまいります。

### **（２）【海外誘致（インバウンド）対策】**

海外からの観光客は新型コロナウイルスの影響で激減しましたが韓国、香港のチャーター便の復活もあり徐々に海外客も増えてきておりますが本協会との姉妹温泉都市の台湾北投温泉協会との交流も図ってまいります。また、県観光連盟などとコロナ収束後の今後の動向を見極めながら誘致対策に取り組んでまいりたいと思います。

- ① オンラインを使った海外との商談会への観光情報の提供。
- ② 技能実習生などインバウンド人材活用事業の受入と協力。
- ③ 市が指宿駅構内観光案所に観光コンシェルジュ（中国語・英語対応）を設置することによる案内所サービスの向上。
- ④ その他、インバウンド対策に係る関連団体との連携。 以上について強化・推進を図ってまいります。

### **（３）【イベントの取り組み】**

国内でも知名度の大会マラソン・マーチ・フラのイベントは、本市にとって欠かせないイベントとなっております。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらもリアル大会を開催しました。

しかしながら、それぞれのイベントにおいて、相応しい感染症対策や、万が一の時の対応手段等、重ねた経験を活かし、令和５年度はそれぞれの課題を研鑽し新たな企画や運営で開催し、地域に元気を届けられるよう、取り組んで参ります。

また、近年の少子高齢化や観光業界が受けたダメージ等を考慮し、大会の意義や目的、経済効果等、イベントが本市の地域振興にとって必要とされる理由を再考し、現状に即した形での開催を目指します。

その他、新たに完成した指宿港海岸や、新しい指宿の風物詩である夏のひまわりなど、新たな素材でイベントを通して地域振興に繋がられるよう取り組んで参ります。

## Ⅱ【収益事業会計】

### 1【財政の健全化に伴う事業運営のスリム化】

当観光協会の財源については公益事業を支えるための収益事業として、指宿駅構内や砂楽内の土産品販売「ふるさとショップ売店」や指宿駅構内案内所でのレンタル電動アシスト自転車、手荷物送り等の有料サービスによる収入確保に一層努めてまいります。

また、「極上体験プログラム」のリニューアルを行いお得感を持った楽しめるチケットとして販売促進を図り増収と、経費節減等にも努めると共に自主財源の確保を図る為、会員事業所の協力を得た通販事業等の構築をはかりながら財政の健全化を図ります。

協会の財政確保に向けて、会員の商品の販売システムの構築を検討いたします。

会費については、市において緊急経営安定化助成事業補助金を継続して3年間の会費の猶予が行われた。今年度は、これまで懸案となっていました会員の会費について、見直しと検討を行います。

## Ⅲ【その他事業会計】

### 1【公園管理業務（指宿市指定管理事業）】

「セントラルパーク指宿」の指宿市指定管理者として、観光客にはビジターセンターとして、地元市民には公園等でくつろぐ機能、温泉祭等のイベントによる会場活用を複合的に持った公園・管理棟としての運営になるよう進めてまいります。

## Ⅳ【法人会計】

### 1【法人会計・組織】

協会役員（理事・監事・顧問）による理事会開催回数を2ヶ月隔離で実施して来ましたがイベントの状況等で随時の開催も必要なこともあり柔軟な開催のあり方を検討して参ります。専門委員会の活動強化と合同開催また、会員への情報発信、県・市等の関係団体との連携により円滑な事業運営を図ってまいります。

## Ⅴ【その他】

「指宿温泉」「指宿砂むし温泉」の地域団体商標登録が認可され地域一体となった地域ブランド力を発信し、「砂楽」など指宿特有の資源を活かした温泉を多くの観光客に提供してまいります。

四季折々の花や散策コースなど最新の観光情報を提供するために、会員向けホームページや既存の観光ネットシステムを効率よく活用する体制に取り組みます。

また、指宿の顔である指宿駅について、窓口対応時間の縮小や駅長不在となっているが観光特急列車「指宿のたまて箱」号を軸に観光情報発信を図り、依然として人気が高く、今後もお出迎えの手振りを継続し、市民一体となったおもてなしの醸成に努めます。

これまでの昼間の周遊型観光から宿泊型観光に繋げるため、夜と早朝の観光スポット開発や他産業（農業・水産・加工業・畜産業）のご協力をいただくことで、街の活性化と発展に繋げていきたいと思います。

指宿港海岸整備事業につきましては、地域住民とのワークショップを通して新たな観光地づくりを目指し行政や他団体との協議を進めてまいります。

以上について取り組んでまいりますので、ご理解ご協力を宜しくお願いいたします。